

神奈川県教育委員会教育長 殿

学校教育計画 (平成28年度～平成31年度)

学校名	厚木清南高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・定時制・通信制
-----	----------	------------------	-------------

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に定めるため、単位制の利点を活かし、生徒自らが主体的に時間割を組み立てることを基調としたカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することを目指した学校づくりに取り組む。

定時制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に定めるため、単位制の利点を活かし、生徒自らが主体的に時間割を組み立てることを基調としたカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することを目指した学校づくりに取り組む。

通信制の高校として、生徒の卒業や進路等の実現に定めるため、生徒の柔軟な学びに配慮した教育課程により、生徒が必要に応じ個々の科目を選択して履修することを基調としたカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することを目指した学校づくりに取り組む。

これまで、フレキシブルスクールとして生徒が共に学ぶことで、他者への理解と協力をはかりコミュニケーション能力を高める教育を展開し、主体的に学び活動する意欲と創造性の向上に取り組んできたが、今後はさらに、柔軟で多様な学習システムを活用し、基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらの活用を目指した不断の授業改善を実施する等、生きる力を育む教育活動の充実に取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。半期単位認定制(セメスター制)の導入に取り組む。

2 学校教育目標

- 半期単位認定制(セメスター制)の導入により、個に応じた教科学習指導の充実に努め、主体的に学び活動する意欲と高い創造性をもつ生徒を育成する。
- 柔軟な学びのシステムを活用するとともに、キャリアサポート体制を拡充し、希望進路の実現を支援する。
- 支援相談制度の活用や特別活動を通じて、生徒の「生きる力」を育む。
- 広報活動・情報発信機能を強化し、多様なニーズに対応できる地域に開かれた魅力ある学校づくりに努める。
- 安全・安心な学校づくりに努める。

3 計画策定時点での課題

- 三課程一体の連携強化を図り、学習指導・学校行事・進路指導において単位制フレキシブルスクールの利点を活かした柔軟な取組みを推進する必要がある。また生徒にも柔軟で多様な学習システムを十分に理解させる必要がある。
- 基礎学力の定着に向けた授業力向上が必要である。
- 生徒の視点に立ったきめ細やかな履修指導を通し、多様な学習ニーズに対応した支援をしていく必要がある。
- スクールカウンセラーやチューター等、担任以外の教育力も活用し、課題を抱える生徒に対してより有効な相談体制を拡充していく必要がある。
- 社会生活を送るのに必要なルール・マナーを身に付けるため、学校生活全体のあらゆる場面で意識づけを行うとともにコミュニケーション能力を育成する必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 柔軟な学びのシステムを活かした教育課程の編成を推進する。 生徒が主体的に学び、学力の定着が図れるような授業を実現するための研究を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々に応じた履修指導を充実させるとともに課程間併修やセメスター制度を展開する。 生徒が主体的に学べるような「清南型アクティブラーニング」を確立するための授業研究を行い、その結果を共有する。 分かりやすい授業の実現を目指し、ICT 利活用のため、校内ポータルサイトや職員研修を通じ、実践しやすい体制づくりに取り組む。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 多様な課題を抱える生徒に対応するため指導、支援体制の充実を図る。 学校行事を通して生徒の自己肯定感の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談を推進し、関係機関と連携しながら、様々な角度から生徒にアプローチできる体制を整える。 生徒とのコミュニケーションを通じ、豊かな人間関係づくりに取り組む。 生徒の実態を踏まえた効果的な情報モラル教育の工夫・展開を図る。 生徒が主体的に活動し成功体験を得られるよう支援する。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりが将来性、計画性を踏まえて自己実現ができる進路指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々に応じた履修指導を充実させる。 個々の進路計画の作成とその活用を図る。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 地域に理解され、信頼される活動を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災活動や地域の学校（小学校や幼稚園など）との連携を推進する。 日々の教育活動の報告を通じて、単位制フレキシブルスクールについての魅力と特色を情報発信するとともに、学校説明会等の工夫・改善を図る。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な学校づくりのために三課程が連携して教育活動を展開する。 フレキシブルスクールとして三課程の情報共有を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 三課程で作成している学校安全・安心活動計画を多面的に現状分析し、必要な行政機関と連携を図る。 校内ポータルサイトの拡充と活用を図るとともに、職員の情報セキュリティ意識の向上を図る。